

「オーガニックなまちづくり」について

1. 背景

- (1) 近世から港町として繁栄し、住民が主体となって独自の文化を築いてきた歴史がある。
- (2) 東京湾アクアラインの開通に伴い、都心からの時間的距離は40分にまで短縮され、交通の利便性が大きく向上。
- (3) 東京湾最大の自然干潟や里山などの豊かな自然が残されており、「都心に最も近く、身近に豊かな自然を感じることができる場所」である。
- (4) 多様化するライフスタイルに適応した優良な住宅地や商業施設の開発が進み、子育て世代を中心に近隣市や都心からの移住者増加。
- (5) 地域課題の解決に向け積極的に取り組む市民や団体等の活動が盛んである。
- (6) 移住者の増加などポジティブな流れを、様々な主体が力を合わせ地域一体となって維持・加速させていくことが必要
- (7) 少子高齢化の進行や近い将来に予測される人口減少などにより、今までの制度や体制では解決できない構造的課題に対応するため、持続可能なまちづくりに向けた体制の構築が必要

2. オーガニックなまちづくりとは

オーガニックとは、健康で持続可能な暮らしを守るため、環境や社会に配慮し、自ら何ができるかを考え、実際に行動する生き方です。私たちは、「オーガニック」をまちづくりのテーマとし、人と自然が調和した持続可能な都市を構築し、次世代につなぐ取組を「オーガニックなまちづくり」と定義します。

3. めざす「まち」の姿

私たちは、木更津で暮らす人、未来を含めて木更津に関わる全ての人々が、ポジティブな変化を起こす当事者になれると信じています。地域を愛し、自らの手で未来を選択・創造する人、豊かな地域資源をより良く循環させ、新たな価値を生み出していく健全な基盤、有機的なつながりや多面的な活動により、個々の思いや理想を実現できるしくみ、これら3つの要素と「自立」「循環」「共生」の視点でつくられる、次世代に引き継がれるまちをめざします。

4. まちづくりの方向 (次ページに詳細)

- (1) 自ら考え、行動する人たちが支える、創造のまち
- (2) 都市部と里山里海がバランス良く発展する、健全なまち
- (3) 多様なあり方・暮らし方を認め合う、自由に生きやすいまち

「オーガニックなまちづくり」について

4. まちづくりの方向

(1) 自ら考え、行動する人たちが支える、創造のまち

本市は、以前より、地域課題の解決に向け積極的に取り組む市民や団体等の活動が盛んです。

- ① 市民一人ひとりが社会の一員であり、社会全体に影響を与える存在であることを認識し、自分にできることを考え、主体的に実行していく機運を醸成します。
- ② 新たなことに果敢に挑戦する人や、自分たちの未来を意志をもって選択し、自分らしいライフスタイルを追求する人たちが集い、有機的に結びつくことで、新たな価値や魅力を創造します。
- ③ 長期的な視野に立ち、教育や生涯学習などを通じて、地元愛と独自の文化を育みます。

(2) 都市部と里山里海がバランス良く発展する、健全なまち

本市は、多様な生物を育む干潟や蛸が生息する里山などの豊かな自然環境をはじめ、重要港湾である木更津港や国際的水準の研究開発拠点であるかずさアカデミアパーク、歴史ある神社・仏閣など、数多くの地域資源を有します。

- ① 人、自然、産業、文化など様々なまちの資源を、大切に磨き上げ、新たな価値を生み出し、国内外に発信します。
- ② 土・空気・水・野山の生態系の再生力を上回る負荷をかけないよう、自然に配慮した農林水産業・工業・商業・暮らし方を奨励します。
- ③ 地域資源を、有効活用し、豊かで良質な循環を創出することで、域内消費や駅周辺を含むまちの活性化などを推進します。

(3) 多様なあり方・暮らし方を認め合う、自由に生きやすいまち

本市は、都心に近接しながら豊かな自然環境が残されているなど、多様なライフスタイルを実現できるまちの土壌があります。

- ① 誰もが安心・安全に暮らすことができ、性別・年齢・障害の有無などに関わらず、お互いの個性を尊重し合い、活躍することのできる、支えあい・認めあいのある地域社会をつくります。
- ② 木更津に住む人だけでなく、学ぶ人、働く人など、このまちに関わる全ての人々が、その人らしい生き方や暮らしを実現することのできる、自由に生きやすいまちを創造します。
- ③ 国籍や文化の違いを認め合い、互いに発展することができる、多様なネットワークを構築します。

「Kisarazu Organic City」(オーガニックなまちづくり)

～人と自然が調和した持続可能な都市を構築し、次世代につなぐ～

まちづくりの方向

自ら考え、 行動する人たちが支える、 創造のまち	都市部と里山里海が バランス良く発展する、 健全なまち	多様なあり方・暮らし方を 認め合う、 自由に生きやすいまち
--------------------------------	-----------------------------------	-------------------------------------

アクションプラン(今後、重点化して実施する施策)

- ① オーガニックなまちづくりへの参加意識啓発
(サポーター制度構築、健康教育、ワークライフバランス 等)
- ② アントレプレナーシップの醸成
(創業支援、市民活動・地域リーダーの育成 等)
- ③ 郷土愛の育成
(歴史・文化 等)

- ① 新たな価値を生み出す産業振興
(農林水産業、先端産業の連携、観光(スポーツ、食、インバウンド等)等)
- ② 資源循環型社会の形成
(食育の推進、地産地消、リサイクル、エネルギー循環 等)
- ③ 都市計画のサステナブル化
(みなとまち木更津の再生、コンパクトシティ+ネットワーク、里山・里海保全、景観形成、公共施設整備 等)

- ① 支えあい・認め合いの地域づくり
(まちづくり協議会、防災、防犯、高齢者支援、障害者支援 等)
- ② 多様なライフスタイルがかなうしくみづくり
(切れ目ない子育て支援、空き家バンクの制度化 等)
- ③ 世界とのネットワーク構築
(国際交流・国際理解、クルーズ船、オリンピック・パラリンピック 等)